

令和元年度 自衛隊家族会事業報告（案）

1 全 般

我が国を取り巻く安全保障環境は流動的かつ不透明な状況が継続し、自衛隊は我が国周辺海空域の常時継続的な警戒監視を行いつつ、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処活動を継続する等、引き続き国内外で多様な任務を遂行した。本年度はこれに加え、中東地域における日本関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動のための海自部隊の派遣、オーストラリアの大規模山林火災に対する国際緊急援助活動として空自輸送機の派遣等も行われた。また、連続した台風等の自然災害への対応の他、感染症の拡大防止のための災害派遣等、幅広い活動を行った。

一方、自衛官の募集をはじめとする人的環境の厳しさに大きな変化はなく、任務の多様化と相まって、部隊も隊員も職種の枠にとどまらず様々な役割、任務に対応することが求められた。

このような状況の下、本会は、自衛隊員の最も身近な存在として自衛隊を支えるべく、計画した各種事業をほぼ計画通りに実施した。これにより「自らの国は自ら守る」という防衛意識の普及・高揚を図るとともに、自衛隊員が誇りと自信を持って任務に邁進できる環境を整えるよう家族支援協力等の防衛基盤の確立・強化に寄与した。

2 主要事業の成果

(1) 公益目的事業

ア 公 1 「国民に対する防衛意識の普及・高揚事業」

(ア) 防衛講演会等

a 神奈川県防衛講演会

令和元年度第 1 回防衛講演会は、9 月 28 日（土）、神奈川県自衛隊家族会が担当し、横浜市において、香田洋二氏（元自衛艦隊司令官）を講師として開催した。家族会会員はもとより、神奈川県民、防衛協会会員、隊友会会員、水交会会員、郷友連盟会員、自衛官募集相談員、防衛大学校学生など約 330 人が熱心に聴講した。このうち約 4 割が、家族会員以外の参加者だった。

香田講師は、「日米同盟と我が国の安全保障について」と題して講演し、明治維新以降の日本の軍事同盟の歴史や現状の諸外国の軍事力

の分析を示した。その上で日米双方にとっての同盟の意義を明確にした。

講演会終了後、多くの聴講者からは、「日米同盟の意義がよく分かった。」「大変満足であった。」などの感想が寄せられた。

b 滋賀県防衛講演会

令和元年度第2回防衛講演会は、10月29日（火）、滋賀県家族会が担当し、大津市において、関谷智幸氏（元航空自衛隊作戦情報隊司令、現原子力規制庁東海・大洗規制事務所副所長）を講師として開催した。家族会会員はもとより、滋賀県民、防衛協会会員、隊友会会員、自衛隊滋賀地方協力本部長など約280人が熱心に聴講した。このうち約6割が、家族会員以外の参加者だった。

関谷講師は、「日本の防衛と周辺事情どうするか？」と題して講演し、中国という国の特徴を中国防衛駐在官等の経験を通じて得た知見などから、色々な実例を用いて説明し、安全保障面などにおいて中国の動向を見る際の参考となる事項を講演した。

講演会終了後、多くの聴講者からは、「具体的な例を説明してくれて大変参考になった」「初めて聞いた内容もあり良かった」などの感想が寄せられた。

c 各県家族会が実施した防衛講話

各県家族会が計画・実施した講演会は、76回（30年度67回）で前年度比約13%増であり、各地区会が計画・実施した講演会は、362回（30年度340回）で前年度比約6%増であった。家族会員以外の参加者は、各県家族会で約43%、各地区会等で約35%であった。

各県家族会は、地方協力本部及び部隊と連携し、時機に適した講話の実施に努め、防衛問題や自衛隊への理解促進を図った。また、所在地域の自衛隊指揮官による防衛講話を企画し、地元自衛隊部隊への理解促進にも努めた。

(イ) 防衛情報紙「おやばと」の発行及び拡販の推進等

a 「おやばと」紙面の充実

家族会が発行する防衛情報紙として、各自衛隊のトピックスなどを購読者にタイムリーに伝えるとともに、より魅力的でかつ会員及び現職自衛隊員のみならず広範な読者に有益な「おやばと」を目指し、特集記事を編集する等、より魅力的な紙面へ刷新するための努力を継続した。

内容については、専門的になりがちな安全保障関連の情報を一般の

読者にも分かり易く解説することを着眼とし、「日本史の窓から」「シニアの達人」「家族会長等奮戦記」「回想 自衛隊の災害派遣など」「美佐の新国防論」「やたがらすの眼」及び「健康の扉」等の連載を継続した。なお「やたがらすの眼」は3月号をもって終了した。

各号の特集記事は次のとおりである。

号	特集記事
4月	入隊・入校予定者激励会、平成の30年を振り返る（災害派遣）
5月	入隊・入校式、平成の30年を振り返る（グレーズーン）
6月	令和元年始動、陸自最先任上級曹長
7月	いよいよ募集最盛期（陸幕募集・援護課長）、海自先任伍長
8月	北方領土ビザなし交流、「元気になっています」（教育隊学生）、空自准曹士先任
9月	令和元年度予備自衛官中央訓練、統合幕僚監部最先任
10月	令和元年版防衛白書 各県家族会の募集協力
11月	英国 EU 離脱をめぐる動き（論壇）、平月採用隊員
12月	祝賀御列の儀、米国で感じたこと（論壇）、高等工科大学
1月	謹賀新年（会長挨拶）、写真で振り返る2019年
2月	令和2年部隊訓練始動、入隊・入校予定者激励紙面
3月	空自航空学生課程、駐屯地・基地の桜の見所

b 拡販の推進

各県家族会は、会員以外の読者の拡大と会員の購読率の向上を狙って『おやばと』拡販ステップ・アップ作戦に基づき、ステップ2作戦4年目として、平成30年度の購読結果及び実態調査結果等に基づき、目標を再設定して引き続き購読者の増大に努めた。

その結果、会員の購読率向上については、51県家族会中28県家族会が目標購読率を達成し、15県家族会が30年度と比較して購読率を向上させた。本会全体としては、平成30年度と比較して0.9%増加の64.4%の購読率となった。

c 防衛情報紙「おやばと」の購読数

「おやばと」の発行部数は、882,635部（平成30年度890,010部）と前年度に比し7,375部減少した。「おやばと」拡販作戦による部数減少への抑制効果は得つつも、会員数の減少により結果として部数の減少となった。

d その他

「おやばと」紙上で掲載した回想シリーズを取りまとめ、「自衛官が語る災害派遣の記録」、「自衛官が語る海外活動の記録」として編集し、出版に協力した。

(ウ) その他

a 本会に対する理解を得るとともに、各事業の趣旨の普及等に寄与するため、ホームページの充実を図った。

b 本部及び各県家族会は、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）等を活用した連絡網の整備に努めた。また情報の発信、共有を効果的に行うため、本部ではFacebookの活用を開始した。

c 隊友会主催防衛セミナー等への協賛、協力

11月1日（金）、隊友会主催、家族会等が協賛し令和元年度防衛セミナーが、損保ジャパン日本興亜(株)本社講堂において「多次元統合防衛力を読む（海洋・宇宙領域について）」というテーマで実施され、山田吉彦氏と寺門和夫氏が講演した。家族会からは、伊藤会長以下東京近郊の会員25人が参加した。

また、隊友会本部が計画した「静岡県防衛セミナー」には静岡県自衛隊家族会が協賛する等、各県隊友会が実施した「防衛セミナー」等に各県家族会が積極的に協力し防衛意識の普及高揚に努めた。

イ 公2「自衛隊の諸活動に対する協力・激励事業」

(ア) 自衛隊が行う家族支援に対する協力

a 本会は、家族支援協力事業に関連する演習等に積極的に参加し、当該事業の深化を継続的に図った。また、既に支援の枠組みが確立されている陸上自衛隊に加え、海上自衛隊と6月3日に中央協定を締結した。

b 家族支援協力を資するため、家族会会員証の整備について検討し、会員証の作成、管理要領等の一案を得、規則の制定を含め次年度から実施できるよう準備を進めた。

c 各県家族会は、地域毎の特性を生かしつつ、安否確認態勢の更なる充実を図った。

d 各県家族会の活動を支援するためのボランティア保険制度の定着化を図った。

(イ) 自衛隊が行う募集・就職援護活動に対する協力

a 各県家族会は、年度当初から地方協力本部と緊密な連携を保持しつつ組織的支援協力態勢を整え、入隊・入校者激励会を主催するとともに募集及び援護情報の提供、地方協力本部が実施する行事への支援・

協力等を行った。特に、「募集協力強調期間」を設定し、前半（7月～9月）は、地方協力本部と連携した組織的な募集情報提供等に協力し、後半（10月～12月）は採用試験合格者（内定者）の全員入隊を目指して地方協力本部が実施する内定者向け広報活動（つなぎ広報）に協力した。

- b 本年度は、1, 149件（平成30年度889件）の募集情報及び66件（平成30年度94件）の援護情報を提供した。その結果、全国で入隊者258人（平成30年度237人）、就職者29人（平成30年度39人）の成果に結びついた。

特に、入隊に直結する情報提供については、8県の家族会（宮城、秋田、群馬、石川、大阪、福岡、熊本、鹿児島）において成果を上げた。

- c 6月19日（水）、陸上幕僚監部主催の「募集協力者会同」に県家族会長等が参加した。内局人材育成課及び陸海空各幕の人事担当者から隊員募集、就職援護、家族支援等に関して説明・依頼が行われた。

官側説明の後、募集協力への取り組み状況等を秋田・栃木・長野・東京の県家族会長が発表した。

- d 総合募集情報誌「Defense World 20」（2020年版、以下「DW20」という。）を23,000部発行した。

作成、編集にあたっては、以下の点に着意し、隊員募集・就職援護及び家族支援に寄与するとともに、わが国の防衛の考え方や自衛隊の各種活動について紹介した。

- ・前年版を基本に、自衛隊を目指す若者を主対象にしつつ、誰にでも自衛隊がよく分かるように作成
- ・自衛官ってどんな人達、防衛白書、家族の声、援護特集を更新
- ・我が国の安全保障・防衛政策、平和安全法制、防衛大綱、中期防等の分かり易い解説
- ・昨年度の自衛隊及び家族会の事業に関するビジュアル化（写真の多用）を重視

（ウ）自衛隊が行う広報に対する協力

各県家族会は、会員をはじめ多くの人々に、自衛隊が実施する行事について日時、内容等の情報を提供するとともに、諸行事への参加の機会を利用して自衛隊が行う広報に協力した。その際、本部が作成した自衛隊家族会パンフレットや家族会カレンダーを活用した。

(エ) 隊員に対する慰問・激励

- a 本会は、演習・訓練に従事する部隊・隊員及びその家族を激励するとともに、陸・海・空自衛隊の各部隊等が実施した記念行事、音楽祭、慰霊行事等への参列、家族支援協力の訓練に参加した。
- b 「自衛隊の活動支援基金」については、各県家族会から引き続き自発的な寄附金を受け付けた。
- c 5月21日(月)、令和元年度遠洋練習航海部隊の出港行事が横須賀港で実施され、小松理事が会長代理として参加し実習幹部を激励するとともに、部隊代表に花束を贈呈し航海の安全を祈念した。
また、10月24日(木)、同帰国行事が横須賀港で実施され、伊藤会長が参加し実習幹部及び参加部隊隊員を慰労するとともに、部隊代表に花束を贈呈した。
- d 10月13日(日)、令和元年度自衛隊殉職者追悼式が市ヶ谷駐屯地において執り行われ伊藤会長が参列した。今年度は、陸自4柱、海自4柱、空自3柱、他1柱、合計12柱が合祀された。
- e 国際平和協力活動等派遣部隊・隊員に対する激励

番号	名称	時期	対象部隊等	実施家族会
1	第34次水上部隊	R元.7	第4護衛隊	広島県
2	第35次水上部隊	R元.11	第2護衛隊	長崎県
3	中東派遣水上部隊	R2.1	第6護衛隊	神奈川県
4	第35次航空隊	R元.4	第2航空群	青森県
5	第36次航空隊	R元.7	第5航空群	沖縄県
6	第37次航空隊	R元.10	第2航空群	青森県
7	第38次航空隊	R2.1	第5航空群	沖縄県
8	第12次行動支援隊	R元.7	中央即応連隊	栃木県
9	第13次行動支援隊	R2.1	第25普通科連隊	道北
10	UNMISS 司令部要員	H31.4	陸上総隊	本部
11	UNMISS 司令部要員	R元.12	陸上総隊	本部
12	多国籍軍監視団 司令部要員	H31.4	陸上総隊	本部
13	房総半島台風 災害派遣部隊	R元.9	第1空挺団 海自教育航空群 海自第21航空群 空自木更津支所	千葉県
14	国際緊急援助隊	R2.2	第1輸送航空隊	愛知県

(オ) 東京オリンピック・パラリンピックに向けての協力

35県から817、380円の募金協力を得た。(令和2年3月31日現在)

(2) 国民運動への参加

ア 北方領土返還要求署名活動

北方領土返還要求運動連絡協議会の幹事団体として各種活動に積極的に参加した。

(ア) 北方領土返還要求署名活動を強力に推進し、一つの団体としては最も多い132,438人の署名を得た。

(イ) 7月5日(金)～8日(月)に実施された令和元年度北方四島交流訪問事業(ビザ無し交流)に、牛島佐賀県家族会会長及び本部から古賀運営委員が参加した。また、事業参加の成果を「おやばと」及びホームページに掲載し、会員はもとより広く国民に対して北方領土の現状及び早期返還の必要性を呼びかけた。

(ウ) 2月7日(金)、国立劇場で開催された北方領土返還要求全国大会に家族会から伊藤会長以下東京近郊の会員約50人が参加した。

大会では署名活動に取り組む各団体を代表して本部の古賀運営委員が、「国民が領土問題に関心を持ち続け、忘れないためにも署名活動を続けます。」と決意を述べた。

イ その他の国民運動

憲法改正に関する各種フォーラム等の開催に際し、情報の共有や憲法改正に関するパンフレット等の資料の紹介を行った。

(3) 会の充実を図る事業

ア 会勢の充実

「令和元年度県別目標入会率」については、2県家族会が目標を達成したものの、49県家族会が目標に到達できなかった。目標未達成家族会の内、19県家族会が昨年より上昇し、26県家族会が低下しており、全体の入会率は23%と30年度の26%より約3%下落した。全国の正会員数は、69,988人となり、30年度に比して1,891人減少した。

本部は、部隊長・地方協力本部長等機関の長に対して、「公益社団法人自衛隊家族会が行う各種施策への協力の推進について」との陸幕長通知を基に、元年12月に各県家族会長(事務局長)に対し、令和2年度目標を提示するとともに、地方協力本部長と家族会入会意識調査アンケートに関し連携を密にし、その成果を新会員の入会促進に反映するよう依頼した。また、同時期に陸海空部隊長及び幹部候補生学校長に対して家

族会への新会員入会促進協力について依頼した。

イ 各種手段及び機会を活用した本会の広報

(ア) 本部は「自衛隊家族会パンフレット」の各県不足分を確認し、追加配布した。各県家族会は、各県等で実施される入隊激励会等の場を利用してパンフレットを配布し広報に努めた。

(イ) 各種の活動の機会をとらえてロゴマーク、識別装備品等を使用し広報に努めた。

(ウ) 令和2年度「自衛隊家族会カレンダー」を2,505部作成・配布した。

(エ) 各県家族会は、それぞれの工夫により本会及び各県家族会の広報に努めた。

ウ 「自衛隊家族会活性化施策」の検討

真に「自衛隊を支えることができる組織」として会を充実発展させる為に、「組織の強化」、「会員の充実」及び「活発な活動」を主要検討項目として、「活性化施策検討委員会」を本部に設置し、各県家族会と一体となり継続的な検討を行った。

本部は、10月25日(金)に開催した新任会長等研修会で家族会活性化施策意見交換会を開催し、その成果を防衛情報紙「おやばと」の令和元年12月号に掲載して各県家族会会員に周知した。

エ 個人情報保護法に基づく個人情報の管理

個人情報保護法の趣旨、運用要領等に基づき本会で作成した個人情報保護規則及び個人情報保護マニュアルの内容について、新任会長等研修会等において徹底するとともに、防衛情報紙「おやばと」の紙面を活用して広く会員に周知した。

オ 本会関連規則の整備

内閣府公益認定等委員会からの立入検査時の指導に基づき各規則に改廃条項を追加する等、24規則の改正を検討した。また、自衛隊家族会会員証の作成に向けて規則制定を検討した。

カ 県家族会現地調査

本会組織の健全性を維持し、適切な活動を継続するため、11月7日(木)に千葉県家族会を対象に現地調査を行った。

千葉県家族会は、渡邊昭会長を核心として本会の使命を深く認識し国民の防衛意識の普及高揚並びに自衛隊に対する協力・支援等、積極的に諸活動が実践されていることを確認した。特に各地区会長へ調査アンケートを行い、地区会毎の実態を適切に把握していた。

3 会議等

(1) 定期総会：6月18日(火)(場所：グランドヒル市ヶ谷)

- ・平成30年度事業報告・決算の承認等
- ・令和元年度事業計画・予算書の報告等

(2) 理事会

ア 第1回 5月下旬(書面決議：平成30年度事業報告・収支決算)

イ 第2回 6月18日(火)(業務執行理事の追加選任、県会長等人事、定期報告)

ウ 第3回 12月初旬(書面決議：令和2年度事業計画の骨子)

エ 第4回 3月中旬(書面決議：令和2年度事業計画・分担金・収支予算書・定期総会の開催)

(3) 「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会：2月20日(木)

(4) 地域協議会

本部要望の議題の他、会員の拡大、地本・部隊との連携強化等について討議、意見交換を実施した。

地域	実施時期	開催地	主要議事等
北海道	8.29	札幌市	1 主要議事 ・本部指定討議テーマ 会勢維持・拡大のための施策 ・各県テーマ ・その他 2 講演
東北	10.10	青森市	
北関東	9.8	富岡市	
南関東	R2.1.21	練馬駐屯地	
東海・北陸	10.29	名古屋市	
近畿	11.17	京都市	
中国	9.5	鳥取市	
四国	7.17	善通寺市	
九州・沖縄	7.10	鹿児島市	

(5) 運営委員会

毎月1回開催した。

(6) 新任会長等研修会：10月25日(金)(場所：グランドヒル市ヶ谷)

新たに就任した各県家族会長・事務局長等37名が出席し、家族会業務に関する次の事項についての研修を行った。

- ・自衛隊家族会の歩み、特に「私たちの信条」
- ・「活動の手引」主要内容
- ・家族支援協力に関する事項
- ・会員拡大に関する事項
- ・「おやばと」拡販に関する事項

- ・ 家族会活性化施策に関する事項
- ・ 新任会長抱負発表
- ・ 自由討議

4 その他

(1) 賀詞交歓会

令和2年1月15日（水）グランドヒル市ヶ谷において、家族会、隊友会、日本郷友連盟共催の「協力三団体共催賀詞交歓会」を日本郷友連盟の幹事で開催した。

賀詞交歓会には、山本防衛副大臣、国会議員、事務次官等内局主要幹部、統合幕僚長、各幕僚長等自衛官、防衛関係諸団体の代表者など約270人が参加した。

家族会からは、本部役員や関東地域の家族会員約30人が参加すると共に、開催の支援を実施した。

(2) 各県家族会細部活動状況

別紙「令和元年度活動状況調査表（集計）」

令和元年度 活動状況調査表(集計)

地域	NO	支部	カード数 (30年版)	正会員数	正会員 組織率	新隊員家族の入会			女性会 員数	賛助 会員	地区会状況				正会員会費		おやばと			地区会総会		防衛講演会実施					北方領土署名		募集活動		援護活動		支部			
						30年度 入隊数 (陸葬)	新入会 員数	入会 率			地区会 総数	新 編地区 会	市町村 全数	地区会 保有市	結成 率	納入 数	納入 率 %	購読 数	会員以 外の 購読数	購読 率	実施 地区 会	実施率 %	県	(県 立) 独	(県) 一般 参加	地区 会	(地 立) 独	(地) 一般 参加	署 名 数	署 名 達 成 率	情 報 数	入 隊 者 数		情 報 数	就 職 数	
北海道	1	札幌	10,279	1,462	14	496	71	14	314	90	45	0	47	44	94	1,544	106	1,332	0	91	32	71	2	2	2	3	3	2	5,964	204	20	2	2	0	札幌	
	2	道南	3,185	688	22	138	33	24	200	72	18	0	18	18	100	698	101	628	28	91	18	100	1	0	0	3	3	3	1,717	125	14	2	3	1	道南	
	3	道北	6,841	1,297	19	206	43	21	224	62	39	0	54	38	70	1,081	83	900	40	69	35	90	1	0	0	4	2	0	607	23	13	6	3	1	道北	
	4	道東	6,715	998	15	177	12	7	128	65	40	0	42	40	95	898	90	701	20	70	35	88	1	0	0	7	0	3	1,032	52	2	1	0	0	道東	
	5	道央	4,507	1,010	22	208	72	35	181	29	23	0	27	26	96	1,010	100	325	25	32	23	100	1	3	0	1	1	0	1,920	95	8	6	0	0	道央	
東北	6	青森	9,840	1,791	18	387	102	26	452	124	45	0	38	36	95	1,658	93	973	53	54	44	98	2	2	2	14	10	10	5,892	164	9	2	1	0	青森	
	7	岩手	3,834	980	26	190	19	10	84	6	31	0	31	31	100	972	99	214	60	22	8	26	0	0	0	0	0	0	575	29	6	1	0	0	岩手	
	8	宮城	6,782	2,555	38	413	87	21	334	89	61	0	35	35	100	2,440	95	648	149	25	41	67	1	0	0	11	6	4	4,308	84	96	23	2	0	宮城	
	9	秋田	3,382	1,839	54	185	90	49	370	50	6	0	25	24	96	1,839	100	622	18	34	20	333	0	0	0	14	11	3	1,629	44	64	32	0	0	秋田	
	10	山形	3,526	1,889	54	193	50	26	740	0	40	0	35	33	94	1,926	102	692	0	37	30	75	1	0	0	13	0	0	2,043	54	0	0	0	0	山形	
北関東	11	福島	4,777	1,417	30	231	55	24	72	29	6	0	59	34	58	1,454	103	588	0	41	0	0	3	0	0	2	2	0	3,237	114	7	0	0	0	福島	
	12	栃木	2,207	991	45	219	66	30	253	61	24	0	25	23	92	996	101	903	26	91	24	100	1	1	1	8	3	0	10,917	551	9	4	1	1	栃木	
	13	群馬	2,617	1,589	61	207	73	35	168	165	34	0	35	34	97	1,589	100	1,506	189	95	31	91	1	0	0	0	0	0	5,059	159	87	2	0	0	群馬	
	14	新潟	3,464	1,605	46	250	67	27	287	86	28	0	30	23	77	1,605	100	1,449	118	90	0	0	1	0	1	13	12	3	1,928	60	5	0	0	0	新潟	
	15	長野	1,846	768	42	177	45	25	128	64	44	0	77	69	90	737	96	400	40	52	24	55	1	1	0	6	2	2	825	54	11	6	0	0	長野	
南関東	16	茨城	4,101	261	6	317	58	18	48	0	6	1	44	44	100	203	78	610	349	234	0	0	0	0	0	0	0	0	1,743	334	7	4	0	0	茨城	
	17	埼玉	6,887	1,001	15	664	42	6	119	388	41	1	49	41	84	989	99	1,084	95	108	39	95	3	1	1	0	0	0	7,826	391	11	0	0	0	埼玉	
	18	千葉	5,992	893	15	484	55	11	155	125	26	0	54	26	48	863	97	885	92	99	25	96	1	0	0	8	3	4	847	47	12	0	0	0	千葉	
	19	東京	9,328	1,440	15	1,221	124	10	469	81	41	0	46	38	83	1,376	96	1,395	136	97	36	88	5	5	3	21	8	6	3,707	129	37	6	4	1	東京	
	20	神奈川	8,285	1,059	13	683	126	18	346	196	15	0	56	56	100	1,022	97	1,257	94	119	15	100	2	1	2	8	5	4	3,856	182	14	3	2	5	神奈川	
東海・北陸	21	山梨	898	390	43	101	27	27	53	17	12	0	27	13	48	337	86	274	1	70	8	67	1	0	0	0	0	0	40	5	3	1	0	0	山梨	
	22	静岡	4,772	1,285	27	357	90	25	196	3	26	1	35	31	89	1,201	93	1,029	24	80	26	100	0	0	0	2	0	2	1,035	40	0	0	0	0	静岡	
	23	富山	972	649	67	58	26	45	86	38	14	0	15	14	93	641	99	499	15	77	14	100	1	0	0	12	11	0	3,683	284	8	1	0	0	富山	
	24	石川	2,183	995	46	137	46	34	164	81	19	0	19	19	100	961	97	902	54	91	19	100	0	0	0	15	9	2	1,325	67	52	30	1	0	石川	
	25	福井	1,095	494	45	95	50	53	140	10	11	0	17	16	94	500	101	512	0	104	10	91	2	0	2	3	1	0	960	97	2	0	0	0	福井	
近畿	26	岐阜	2,395	852	36	172	53	31	114	53	19	0	42	19	45	852	100	514	40	60	19	100	2	0	2	9	6	3	964	57	10	4	1	0	岐阜	
	27	愛知	5,714	1,526	27	605	178	29	207	58	27	0	54	54	100	1,526	100	1,389	151	91	27	100	2	0	2	12	3	0	1,140	37	5	3	1	0	愛知	
	28	三重	1,908	534	28	163	37	23	27	7	11	0	29	24	83	521	98	584	50	109	11	100	1	1	0	0	0	0	84	8	1	1	0	0	三重	
	29	滋賀	1,156	487	42	141	19	13	112	64	5	0	41	39	95	487	100	487	0	100	11	220	1	0	1	2	0	0	308	32	11	2	0	0	滋賀	
	30	京都	3,673	621	17	327	22	7	203	17	13	0	26	26	100	601	97	640	8	103	12	92	1	1	1	5	4	1	1,918	154	12	3	2	0	京都	
中国	31	大阪	5,710	1,160	20	779	93	12	294	78	18	0	66	66	100	1,137	98	1,347	231	116	17	94	1	1	0	15	13	2	1,718	74	63	-	12	6	大阪	
	32	兵庫	5,721	1,023	18	426	60	14	212	99	14	0	41	34	83	894	87	1,093	78	107	14	100	1	1	0	10	8	0	3,001	147	29	9	2	0	兵庫	
	33	奈良	1,110	340	31	77	14	18	32	3	23	0	39	25	64	278	82	95	3	28	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	奈良
	34	和歌山	1,378	565	41	104	5	5	42	115	8	0	30	8	27	565	100	446	0	79	8	100	2	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	和歌山	
	35	鳥取	1,531	532	35	80	15	19	86	120	22	0	18	17	94	526	99	515	64	97	21	95	1	0	1	8	0	0	3,121	293	24	2	3	0	鳥取	
四国	36	島根	1,722	955	55	99	47	47	158	65	29	0	21	16	76	909	95	945	60	99	29	100	2	0	2	6	0	0	5,127	280	5	3	0	0	島根	
	37	岡山	2,227	524	24	168	33	20	108	12	30	0	27	27	100	524	100	880	0	168	29	97	0	0	0	2	0	2	3,039	290	2	0	1	0	岡山	
	38	広島	5,842	1,596	27	417	104	25	198	78	47	0	49	47	96	1,596	100	1,600	550	100	43	91	1	1	1	3	3	1	313	10	19	7	3	0	広島	
	39	山口	3,522	1,083	31	255	117	46	294	71	19	0	19	19	100	974	90	702	29	65	16	84	0	0	0	10	4	2	1,833	85	40	5	2	1	山口	
	40	徳島	1,544	595	39	105	42	40	150	15	17	0	24	17	71	604	102	529	15	89	17	100	2	1	1	3	2	1	786	66	15	4	4	0	徳島	
九州・沖縄	41	香川	1,579	953	60	159	101	64	0	23	10	0	17	17	100	945	99	578	20	61	10	100	2	1	0	3	0	2	3,243	170	5	0	0	0	香川	
	42	愛媛	2,461	1,026	42	157	69	44	296	70	19	0	20	20	100	926	90	928	3	90	16	84	6	5	1	3	0	3	2,235	109	9	1	0	0	愛媛	
	43	高知	1,653	835	51	90	32	36	228	40	36	0	34	34	100	705	84	608	60	73	23	64	2	1	1	3	2	1	1,377	82	9	0	1	0	高知	
	44	福岡	12,079	3,442	28	819	160	20	574	152	84	0	75	66	88	3,287	95	2,602	117	76	53	63	1	0	1	13	1	0	5,445	79	95	24	6	5	福岡	
	45	佐賀	3,712	2,208	59	152	61	40	435	15	47	0	20	20	100	2,245	102	1,430	0	65	42	89	1	0	1	27	0	27	8,050	182	0	0	0	0	佐賀	
九州・沖縄	46	長崎	9,629	4,137	43	376	137	36	779	80	30	0	21	21	100	4,541	110	2,816	16	68	25	83	1	0	0	6										